

市民向けアンケート案への意見について

No	項番	内容(原文ママ)	事務局対応	反映結果
1	2. 農産物の購入について	地産地消をすすめる観点での聞き方はどうでしょうか。 ・「自分の食生活でどの程度、清瀬産の農産物を購入していると思いますか？」 ・「清瀬産の農産物を清瀬市内でもっと流通させるにはどうしたらいいと思いますか？」→定期的なマルシェの開催、学校給食への供給、病院・高齢者施設・障がい者などの公共施設の供給 等の選択肢の提示 ・「どうやったら、もっと手軽に清瀬産の野菜を買えるようになると思いますか？」→個人農産物販売所を増やす、スーパーで買えるようにする、休日でも買える場所を増やす などの選択肢の提示	設問を追加します。 普段の食生活でどの程度、清瀬産の農産物を購入しているかを問う設問を新設します。	問10 あなたは普段の食生活で、週に何日ほど清瀬産農産物を購入していますか。
2	問13	有機農産物やエコ農産物の購入についての質問項目では、有機給食が広がっている、国の農業計画でも有機化が目指されている、などの情報をつけたほうがいいように思いました。聞き方も、「どういう条件であれば有機農産物を買おうと思いますか？」として、・価格を抑える ・生産者の方の思いがわかるような表示をつける ・個人では無理なのでまずは公共の場(学校給食など)で実現してほしい などの選択肢を提示してはどうでしょうか。 こういうサイトがありました。全国オーガニック給食協議会(全国オーガニック給食協議会(令和5年6月設立)   小山市公式ホームページ	情報の追記をおこないます。 ご指摘の条件については、設問文の変更で対応します。	※エコ農産物:化学合成農薬と化学肥料を削減して作られる農産物。東京都エコ農産物では削減割合を25%以上、50%以上、不使用の3区分で認証します。 現在有機農産物やエコ農産物は、環境に配慮した栽培方法として土壌環境や生物の多様性など農業生態系を守るものとして注目されています。  下線が追記分
3	問15	「参加したいが、できていない」という選択項目をつくり、なぜできないのか理由を聞く→いそがしいから、体験できる場所が遠いから、子どもが小さくて連れて行くのが大変だから、体験費用が高いから、駐車場がないから その他など そのうえで、「どうしたら参加できるようになりますか？」と聞くのはどうでしょうか→体験できる場所を増やす、主要拠点から送迎マイクロバスを出す、子どもを連れていっても大丈夫だという明示をする(おむつを替える場所、トイレがあることなど)、体験費用を安くする(高齢者や子育て世帯向けには無料クーポンを出すなど) イベントというより、「機会」とするほうが、普段からの取り組みというかんじがしているように思いました。	設問を追加します。 いただいたご意見を踏まえ、「3. 農業とのふれあいについて教えてください」の設問・構成を全面的に見直しました。	資料2市民向けアンケート内「3. 農業とのふれあいについて教えてください」をご覧ください。
4	問15		文言を修正します。No3とあわせて設問内容を修正します。	
5	新設	Q.清瀬産野菜を「もっと買いたい」と思うには、どのようなことがあるといいでしょうか？ 1.どこで買えるかがもっとわかりやすいと購入機会が増える 2.夜や会社帰りにも買える場所・方法があると利用しやすい 3.値段や量がちょうどいいセット・パックがあると手に取りやすい 4.レシピや調理法と一緒に紹介されていると買うきっかけができる 5.「清瀬産」とわかる表示がもっとあるといい(スーパー・飲食店など) 6.子供と一緒にいける直売所・イベントがあると行きやすい 7.生産者の方の顔や想い・ストーリーが見えると応援したくなる 8.すでに十分買っている/今のままで満足している	設問を新設します。自由記述で広く意見を頂戴します。	問21 市民に清瀬産野菜を「もっと買いたい」と思ってもらえるためには、どのようなことがあるといいですか。(自由記述)